第 74 号 議 案

長崎県立佐世保青少年の天地条例等の一部を改正する条例案を次のとおり提出する。

令 和 7 年 6 月 16 日

長 崎 県 知 事 大 石 賢 吾

長崎県立佐世保青少年の天地条例等の一部を改正する条例

(長崎県立佐世保青少年の天地条例の一部改正)

第 1 条 長崎県立佐世保青少年の天地条例（昭和44年長崎県条例第15号）の一部を次のように改正する。

次の表に掲げる規定の改正部分は、下線の部分である。

改正後	改正前
<p>(開館日)</p> <p>第 6 条 青少年の天地は、<u>知事の承認を得て指定管理者が定める日</u>（以下「休館日」という。）を除き、開館するものとする。</p> <p>2 <u>前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。</u></p> <p>(利用料金)</p> <p>第10条 略</p> <p>2 及び 3 略</p>	<p>(開館日)</p> <p>第 6 条 青少年の天地は、<u>12月28日から翌年の1月5日まで</u>（以下「休館日」という。）を除き、開館するものとする。<u>ただし、指定管理者は、やむを得ない事由があるときは、知事の承認を得て、休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。</u></p> <p>(利用料金)</p> <p>第10条 略</p> <p>2 及び 3 略</p>

<p>4 知事は、前項の規定により承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が青少年の天地と規模、形態、<u>提供するサービス等</u>において類似の<u>施設</u>の同種料金と比較して、<u>著しく乖離しない</u>ものであると認めるときは、承認をするものとする。</p> <p>5 略</p>	<p>4 知事は、前項の規定により承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が青少年の天地と規模、形態等において類似の<u>青少年教育施設</u>の同種料金と比較して、<u>均衡のとれた</u>ものであると認めるときは、承認をするものとする。</p> <p>5 略</p>
---	--

(長崎県立少年自然の家条例の一部改正)

第2条 長崎県立少年自然の家条例（昭和48年長崎県条例第68号）の一部を次のように改正する。

次の表に掲げる規定の改正部分は、下線の部分である。

改正後	改正前						
<p style="text-align: center;"><u>長崎県立世知原少年自然の家条例</u></p> <p>(設置)</p> <p>第1条 恵まれた自然環境の中で心身ともに健全な少年の育成を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条の規定に基づき、<u>長崎県立世知原少年自然の家</u>（以下「少年自然の家」という。）を<u>佐世保市</u>に設置する。</p> <p>(開館日)</p> <p>第6条 少年自然の家は、<u>知事の承認を得て指定管理者が定める日</u>（以下「休館日」という。）を除き、開館するものとする。</p>	<p style="text-align: center;"><u>長崎県立少年自然の家条例</u></p> <p>(設置)</p> <p>第1条 恵まれた自然環境の中で心身ともに健全な少年の育成を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条の規定に基づき、<u>長崎県立少年自然の家</u>（以下「少年自然の家」という。）を設置する。</p> <p><u>2 少年自然の家の名称及び位置は、次のとおりとする。</u></p> <table border="1" data-bbox="1137 1018 2051 1145"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名称</th> <th style="text-align: center;">位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>長崎県立千々石少年自然の家</u></td> <td><u>雲仙市</u></td> </tr> <tr> <td><u>長崎県立世知原少年自然の家</u></td> <td><u>佐世保市</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(開館日)</p> <p>第6条 少年自然の家は、<u>次の各号に掲げる日</u>（以下「休館日」という。）を除き、開館するものとする。</p> <p>(1) <u>毎週月曜日（ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日にあたるときは、その翌日）</u></p> <p>(2) <u>12月28日から翌年の1月5日まで</u></p>	名称	位置	<u>長崎県立千々石少年自然の家</u>	<u>雲仙市</u>	<u>長崎県立世知原少年自然の家</u>	<u>佐世保市</u>
名称	位置						
<u>長崎県立千々石少年自然の家</u>	<u>雲仙市</u>						
<u>長崎県立世知原少年自然の家</u>	<u>佐世保市</u>						

<p>2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、<u>必要があると認めるときは</u>、知事の承認を得て、<u>臨時に</u>休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。</p> <p>(利用料金)</p> <p>第10条 略</p> <p>2及び3 略</p> <p>4 知事は、前項の規定により承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が少年自然の家と規模、形態、<u>提供するサービス等</u>において類似の<u>施設</u>の同種料金と比較して、<u>著しく乖離しないものであると認めるときは</u>、承認をするものとする。</p> <p>5 略</p>	<p>2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、<u>やむを得ない事由があるとき</u>は、知事の承認を得て、休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。</p> <p>(利用料金)</p> <p>第10条 略</p> <p>2及び3 略</p> <p>4 知事は、前項の規定により承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が少年自然の家と規模、形態等において類似の<u>青少年教育施設</u>の同種料金と比較して、<u>均衡のとれたものであると認めるときは</u>、承認をするものとする。</p> <p>5 略</p>
--	---

(長崎県立青年の家条例の一部改正)

第3条 長崎県立青年の家条例(昭和50年長崎県条例第35号)の一部を次のように改正する。

次の表に掲げる規定の改正部分は、下線の部分である。

改正後	改正前
<p>(開館日)</p> <p>第6条 青年の家は、<u>知事の承認を得て指定管理者が定める日</u>(以下「休館日」という。)を除き、開館するものとする。</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、<u>必要があると認めるときは</u>、知事の承認を得て、<u>臨時に</u>休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。</p> <p>(利用料金)</p>	<p>(開館日)</p> <p>第6条 青年の家は、<u>次の各号に掲げる日</u>(以下「休館日」という。)を除き、開館するものとする。</p> <p>(1) <u>毎週月曜日(ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日にあたるときは、その翌日)</u></p> <p>(2) <u>12月28日から翌年の1月5日まで</u></p> <p>2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、<u>やむを得ない事由があるとき</u>は、知事の承認を得て、休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。</p> <p>(利用料金)</p>

第10条 略

2及び3 略

4 知事は、前項の規定により承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が青年の家と規模、形態、提供するサービス等において類似の施設の同種料金と比較して、著しく乖離しないものであると認めるときは、承認をするものとする。

5 略

第10条 略

2及び3 略

4 知事は、前項の規定により承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が青年の家と規模、形態等において類似の青少年教育施設の同種料金と比較して、均衡のとれたものであると認めるときは、承認をするものとする。

5 略

附 則

この条例は、令和8年4月1日から施行する。

(提案理由)

長崎県立千々石少年自然の家の廃止及び県立青少年教育施設の安定した施設運営の継続のため所要の改正をしようとするものである。これが、この条例案を提出する理由である。